

教育の質向上に係る取組

本学は、農学系の大学として1967年（昭和42年）に開学し、50年以上に亘って実学重視の教育を実践してきた。特に近年では、本学の教育理念である『食・緑・人』に関する多様な実験・実習授業を取り入れ、自然とのふれあい、人と人との協力を重んじる教育に力を注いでいる。また、高等教育機関として初等・中等教育機関や高等教育等関係機関・産業界などとの接続を強化し、高大連携、共同研究、教員研修に取り組んでいる。

現在、環境園芸学科並びに食品開発科学科では高校（農業・理科）教諭・中学校（理科）教諭、管理栄養学科では栄養教諭、こども教育学科では幼稚園・小学校・特別支援学校教諭の養成課程を擁して教員養成を行っている。

本学では、組織再編を行い令和2年度より「教職支援委員会」を新たに立ち上げ、各学科の教育活動の見える化を図ると共に、全学的な協力体制の構築を行っている。本学の強みである実学教育を生かした教職課程の充実を更に図っている。

○教職支援委員会

環境園芸学科・食品開発科学科・管理栄養学科の教職課程教育を担っていた前教職課程運営委員会を解散し、令和2年度からこども教育学科を含めた全学的な教職課程教育を担う機関として教職支援委員会を設置した。

この委員会の目的は、教育職員の養成・採用・研修などの教育指導・支援に関する企画・運営・調査・研究開発などを協議する機関としての役割を担うと共に各学科間の調整を行い、本学における教職課程の運営を円滑に行うことを目指すものである。また、内容の充実を図るため、委員会の中に教育実習部会・介護体験実習部会・教員免許状更新講習部会・教職課程資格審査部会などの部会を設置している。

【環境園芸学科・食品開発科学科・管理栄養学科】

①教養教育センター

大学全体の教養教育に関すること、並びに、環境園芸学科・食品開発科学科・管理栄養学科に関する教職課程の教育を担う組織として、前教養・教職センターを改名し教養教育センターを設置した。センター設置により、全学的な教育体制の構築と教育水準の確保及び質向上に貢献している。

②教職課程受講資格の審査を実施

将来の教員としてその資質を担保するために、環境園芸学科・食品開発科学科・管理栄養学科の学生に関しては教職課程受講を希望する者に教職課程資格審査を行っている。

審査では、学業成績に加え小論文・面接を実施し、学生の教育者としての心構え・情熱・倫理観などの人間性や一般教養・基礎学力を見るようにしている。成績の如何によって、不合格になる学生がいる。但し、不合格になった者で、どうしても教員に成りたい学生に関しては、卒業後科目等履修生として残り教育職員免許状を取得する道も残している。

【こども教育学科】

こども教育学科は「人を育て地域を育てる」ことを目標として、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭を養成する学科である。学科のカリキュラムは「子どもの心身」「子どもと地域」「子どもと自然」を3つの柱として構成され、目標に相応しい資質を持つ人材の育成に努めている。そのために以下のような特色ある取り組みを行っている。

①連携拠点学校・園方式

本学科は都城市、三股町、鹿児島県曾於市の各教育委員会と協定を結び、相互の協力体制を築いている。とくに大学近辺の6つの小学校と4つの幼稚園は連携拠点校・園として、学科付属「子どもの学び研究所」で定期的な学習会を開催している。

2年生の観察実習、3・4年生の本実習も連携拠点学校・園を中心にこの地域内の校・園で実施している。本実習は11月に実施されるが、学生は4月から実習事前事後指導を受講し、5月には配属校・園への事前訪問を行い、月に一度は学校を訪問し見学・参加を行い、本実習に備える。観察実習・本実習ともに大学側の担当教員を決めて、実習校との連絡体制を整えている。

②子育て支援センター・環境教育センター

本学科は、子育て支援センターと環境教育センターを付設し、独自の活動を展開しつつ学生のボランティア活動を促進している。学生は子どもに関わるさまざまなボランティア活動に参加し、子どもとの交流の機会を得ている。また授業科目として「子ども支援地域活動」を設定し、ボランティア活動を単位化することで、学生の活動を励ましている。

③ホーム制

本学科はホーム（担任）制を採り、履修指導をはじめ学生生活全般に関するアドバイスを行っている。1年生の後期からは、ゼミを開始し、学習研究の指導に加えてボランティア活動や実習についても話題として取り上げ、学生の学習意欲の喚起に努めている。

④課外授業「夢を叶える塾」

本学科では、課外授業として「夢を叶える塾」を実施している。そこでは地域で活動しているさまざまな分野の方の話を聞いたり、小学校、幼稚園、保育園での実践に役立つ知識やスキルを身につけたり、日頃の学習の成果を発表するなどして、学生の意欲・知識・技能の向上を図っている。

⑤うたごえ広場

毎月最終金曜日の放課後に、「うたごえ広場」を開催し、地域の方々との音楽を通じた交流を深めている。学生は、この催しの進行係を務め、歌を披露したり、楽器を演奏したりするなかで表現力を高めている。

⑥保・幼・小担当者会議

教員は、保育士・幼稚園教員養成、小学校教員養成、特別支援が学校教員養成の3グループに分かれ、それぞれ担当者会議を適宜開催し、実習を軸に学生指導について協議し、重要な事項については学科会議の議題に挙げて協議している。

⑦ GPA 表彰

本学科は GPA 制度を採り入れているが、成績優秀者については、毎年学年別に学部長表彰、卒業時に学長表彰を行い、学習意欲の向上を図っている。また、成績低迷者には学期毎にゼミ担当教員が面接をし、フォローアップに努めている。